

<自己紹介書>

プログラマーを志望するクオン・ヘジと申します。

私は大学を卒業した後、日本関西国際空港でグラウンドスタッフとして勤務しました。空港、航空社と連携してコミュニケーションを取る業務に大きな満足を感じて熱心に勤めましたが、コロナパンデミックによる長期欠航が益々長くなり再契約が難しくなりました。

帰国後は国立現代美術館(徳寿宮)で案内デスクの仕事をしながら現場諮問団としても活動しました。この期間中には技術的な力量を上げるためバリスタの資格を取得し、美術館カフェ(複合文化空間)で短期間働くこともありました。

続いてMagpie&Tiger Tearoomで約3年間、副マネージャーとして働きました。

東アジアのお茶を紹介し関連プログラムを運営する、茶愛好家や外国人観光客など、様々なお客様が訪れる場所でした。

この期間「親切さ」が印象的だったという肯定的な評価を受け、勤務期間中4.88以上の高いNaver レビュー評点を維持しました。社内でもCS関連で認められ、日本のインフルエンサーたちと協力して観光客を招待するイベントを担当したりもしました。

私はコロナパンデミック以後、日本の出入国システムが「ビジットジャパン(Visit Japan Web)」でデジタル化されたことを見てIT産業に関心を持つようになりました。手間が掛かった出入国書類作業を一つのウェブプラットフォームに統合し、出入国管理が便利になり、時間も短縮されました。ITがシステムの不便を解消し、効率性を最大化する強力な分野だということを認識したきっかけでした。

このようなIT技術の無限な適用可能性は有望であると感じ、ウェブデザイン(パブリッシャー)、フロントエンドの基礎を学ぶ授業を通じて、実質的に活用できる機能と少しずつ言語に対する理解度を育てています。技術をはじめ、問題の本質を把握し、快適なユーザーエクスペリエンスを設計できる開発者になるため努力しています。

非専攻者だからこそもっと誠実に臨んでいます。責任感を持って、最後の課題であるチームプロジェクトまで仕上げるため努力しております。

これからもっと成長し続ける姿をお見せしたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

【日本で働きたい理由】

日本で働きたい最大の理由は韓国より広い採用機会と自分を成長させるメリットを感じたからです。

現在、日本は多くの会社で独自のシステム開発のための内在化戦略を取り、プログラマーに対する需要が高まりました。韓国の場合、少数の企業を除けば採用数が少ないですが、日本では力量のある新入にも幅広い機会を提供しています。

また、日本は韓国に比べてIT技術を通じてイノベーションを創出できる未開拓市場が大きいです。サービスの不便や不合理を解決する作業、レガシーシステムを革新するDXプロジェクトが日本産業全般にわたって進められています。

このような環境で使いやすく優れたプラットフォームを直接構築し、運営する経験を通じてテクニカルスキルを大きく成長させる機会を持ちたいです。

【プログラム開発経験(資格、経験、学習方法、実際のスキルを使った経験)】

今年9月~12月に受講したK-デジタルトレーニング(政府支援)「生成型 AI(ステーブルディフュージョン)活用モダンウェブ実務者育成」授業では、HTML5&CSS、javascript&Jquery、

React.js、Redux、TypeScript、Figmaを正規の教科にして、BootStrap、GitHubのような副次的な教科も教育します。最終課題は チームプロジェクトで作業しました。

授業の課題で構成されたポートフォリオを添付いたします。機会があればもっと発展した姿をお見せしたいと思います。

Portfolio Link:

👉 <https://portfolio-neon-three-rieqqa9d8.vercel.app/>

【その他アピールしたい部分 - 学習計画】

授業で技術的な側面では、Reactをベースでプロジェクトを進め、次のような技術を深く学習しました。

- ReactRouterを活用した効率的なルーティング及びページ管理。
- Axiosなどを利用したAPI連動とデータ処理。
- Reduxなどのライブラリを活用した全域ステータス管理技術。
- Hooksを活用した関数型コンポーネントの深層的理解と活用。
- Figmaを活用したWEB/APPのレイアウト制作。

3ヶ月間CSS技術を集中的に強化しました。単純に機能を具現するだけでなく、反応型ウェブデザインを適用してUI/UX完成度を高めました。

チーム協業はGitHubを活用して実際の現業と類似した共有作業管理プロセスを身につけることを目指しました。

個人の成長のため、オンラインコーディング教育プラットフォームのcodeItでUIデザイン関連の講義を受講しています。